

〔科目名〕 特別活動指導法				〔単位数〕 1 単位		〔科目区分〕 教職課程(必修科目)	
〔担当者〕 渡部 靖之		〔オフィス・アワー〕 時間: 場所:			〔授業の方法〕 講義・演習		
〔科目の概要〕 前半では、特別活動の内容とねらい、教育課程における位置づけと他教科との関連性について講義する。 後半は、各場面における具体的な指導項目について、実践上の課題と評価方法について演習形式で学ぶ。							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 学習指導要領では、教科外に位置づけられる特別活動は、我が国の学校教育において、各教科の学習と同等に重要な活動である。特に、社会人として求められる「生きる力」を、特別活動によって直接育むことができるという意味では、各教科以上の意味があるとも言える。 1 年次に履修済みの「教職概論」や「教育心理学」、2 年次の「教育行政論」、また今後履修する「教育方法論」、「進路指導の理論と方法」等、他の教職科目との関連性も踏まえつつ、特別活動の持つ意義について学ぶことは、これからの「VUCA」の時代の教員として不可欠である。							
〔科目の到達目標〕 中学校及び高等学校学習指導要領が示す特別活動の目標を達成するために必要な実践的指導力を身につける。 具体的には、次の3点を掲げる。 1 特別活動の目的と歴史の理解を通じて特別活動の意義を知る。 2 特別活動の内容(学級活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事)について、具体例や実習を通して、実践的指導法と評価手法を身につける。 3 集団活動及び自己肯定感の醸成における特別活動の重要性について理解する。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学 部				学 科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
	○	○	○				
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 学生の授業評価を踏まえて、改善すべきところは改善する。							
〔教科書〕 なし							
〔指定図書〕 なし							
〔参考書〕 高等学校学習指導要領解説「特別活動編」 その他必要に応じて提示する。							
〔前提科目〕 なし							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 1 毎時間、「ふりかえりレポート」を含む講義テキストを提出。 2 最終授業で全体の理解度を図る「ふりかえりテスト」を行う。							
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 オリジナルの講義テキスト(簡易なレポート含む)を利用し、効率よく学習が進められるようにする。講義テキストにはコメントを記して返却することで、講義内容のふりかえりを促す。 講義は講義テキストに沿って進め、パワーポイントで適宜資料等を提示する。講義をしっかりと聞き、ふりかえり							

レポートをきちんと記入、提出することが基本である。なお、ふりかえりレポートは、講義で学んだ内容を自分自身や地域に引き付けて捉えられているかどうかに着目して評価する。

7回の授業中、3回の欠席で単位認定資格を失う。(遅刻・中抜け・早退は合計3回につき1回の欠席とみなす)

**〔実務経歴〕**

授業スケジュール

第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): 教育・学習とは何か</p> <p>内 容: 特別活動について学ぶ前提として「教育・学習」、「学校」の意義と役割について考える。</p> <p>① 「教育」とは何か ② 「教育」と「学習」のちがい ③ 社会における学校の意味</p> <p>④ 生涯における学校の意味</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 特別活動の意義と歴史</p> <p>内 容: 特別活動の意義と歴史について講義し、演習により実践力を身に付ける。</p> <p>① 特別活動とは ② 特別活動の意義 ③ 特別活動の歴史</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 特別活動の指導方法①</p> <p>内 容: 特別活動の具体的な指導方法について講義し、演習により実践力を身に付ける。</p> <p>① 学級活動／ホームルーム活動 ② 生徒会活動 ③ クラブ活動</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 特別活動の指導方法②</p> <p>内 容: 特別活動の具体的な指導方法及び評価について講義し、演習により実践力を身に付ける。</p> <p>④ 学校行事 ⑤ 特別活動の評価</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 特別活動と他の諸活動との関係</p> <p>内 容: 特別活動と他の学校教育活動との関連について講義し、演習により実践力を身に付ける。</p> <p>① 各教科との関係 ② 総合的な学習／探究の時間との関係 ③ 道徳教育との関係</p> <p>④ 特別活動を含むクロスカリキュラム</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 特別活動と進路指導・キャリア教育</p> <p>内 容: 特別活動とキャリア教育との関連について講義し、演習により実践力を身に付ける。</p> <p>① 進路指導とキャリア教育 ② 特別活動におけるキャリア教育</p> <p>③ 特別活動における「キャリア教育的」な断片</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 特別活動におけるワークショップの企画</p> <p>内 容: 特別活動における参加体験型学習について講義し、演習を通して実践力を身に付ける。</p> <p>① 特別活動で学校が変わる! ② ワークショップの特性と効果</p> <p>③ 特別活動(学級活動／HR活動)におけるワークショップの企画</p> <p>※全体のふりかえりテストを行う。</p>
試験	